

ひがたのあそびをみんなに伝えたい

ワールドミッションクリスチャンスクール

2年生 平良 勝希

みなさん、ひがたであそんだことがありますか。今日は、ぼくの大すきなひがたをつたえたいと思います。

ぼくは、一年生の時にあわせの海で自ゆうけんきゅうをしました。ある日、ちょうさに行くとき海がひいていて、海にうかんでいた大きな岩まで歩いていくことができました。お姉ちゃんと魚をつかまえようとアミとバケツをもっていきました。だけど、魚はぜんぜんつかまえられませんでした。すると、おじさんがやってきて「そんなんじゃ、とれないよ。」と言いました。そして、おじさんは、はまに生えている草をとってきて、先を丸くしてつりざおを作ってくれました。そして、ひがたで貝をとってきてちぎって、さおの先につけました。それを海の水がのこっているところに入れて、魚が食いついたら、上にあげないで自分の方にひっぱりました。魚は、すなの上にひき上げられました。うわーっ、すごい！なんだこのやり方は!!って思いました。

エビもカニもいました。一円玉よりも小さいタコもいました。タコは、地めんにあいているあなにつりざおを入れてひっぱりそうです。

ぼくは、六才までとちぎけんに住んでいたため、ひがたでのあそび方をしりませんでした。魚は、アミでとるものだと思っていたので、おじさんがやったやり方はぼくにとっておどろきでした。ぼくは、毎年おきなわに来ていたので海であそんだことはあります。さいしょは、海はきもちよくておよぐだけでまんぞくだったけれど、大きくなると魚を見たり、つかまえてみたくなりました。

とちぎの友だちには、おじいやおばあがいなくても毎年おきなわにくる友だちがたくさんいました。きっと、毎年来ていたら海でおよぐだけだとおもしろくないと思います。だから、ひがたでのあそび方をみんなにつたえたいと思いました。今年は、ひがたでのあそび方を自ゆうけんきゅうでしらべて、ガイドブックを作りたいと思います。これをえい語、かん国語、中国語にもして、外国の友だちにもひがたのおもしろさを伝えたいです。

そうすれば、おきなわの海のすごいところが伝わって、日本人もアメリカ人もかん国人も中国人もほかの国の人もおきなわをたのしんでくれると思います。だから、おきなわに来てくれると思います。